

囲いやま森の会 観察記録

2008.5.6 野口 功

日 時： 2008.5.3 (土) 10～11 時 天気： 雨

記録・写真： 山田幸子

連休真っ只中、しかも予報は雨模様でした。この季節、お天気の善し悪しで、観察も雲泥の差があります。予報を見越して、5月1日に一人で囲いやまの春を満喫してきました。今日は、雨降りの中で観察路を回りました。雨の囲いやまは、静寂？物静かな空間で、晴れの日とは違った趣が感じられました。五感を研ぎ澄まして森の中にしばらくいると、その表情の豊かさに驚かされま

す。雨の香り、雨の音、雨にけむる木々、しっとりとした皮膚に感じる雨の感触…。南広場のイヌザクラは今が満開、小さな花ですが、雨に濡れながらも健気に咲いていました。森の中には、コナラの実生が可愛く勢ぞろいしていました。生命の芽生えは、眺めるものに力を与えてくれます。雨を通して見上げた木々の色合いは、自然の素晴らしさを感じさせるものでした。

- 1)カキドオシは良くみると、茎が四角張っています。葉は対生についています。薄紫の花が、2ツずつ付いています。このかわいらしい姿はこの後一変します。垣根があっても通り抜けるくらい逞しいその様子から、名前がつきました。
- 2)身近な場所で見かけるカラスは 2 種類いますが、お気づきでしょうか？ ハシブトガラスは「カーカー」と鳴き、ハシボソガラスは「ガーガー」と濁った声で鳴きます。カラスは攻撃性が強い性格で、自分より大きい猛禽類を、集団で追ったりします。そうそう、いつかTさんが、お弁当をカラスにつまみ食いされていました。あのカラスはどっちだったのでしょうか。いずれにしても、ご用心ください。
- 3)アカメガシワは、空き地や庭に突然生えてきて、すぐに大きくなる木です。新芽が赤いので、今の時期は目立ちます。種子を運んで来るのは、主として鳥です。
- 4)ハウチャクソウは、入り口広場の左奥で、白い可愛い花を咲かせています。花の形が、「宝鐸(ほうたく)」に似ている事から、この名前がつきました。姿は可愛いのですが、有毒です。良く似ているナルコユリやアマドコロは、食用になります。ハウチャクソウを、これらと間違えて食べないようにご注意ください。
- 5)ニホントカゲは、囲いやまでは良く見かけます。実はヘビが大の苦手で、姿はもちろんのこと、図鑑でそのページを開くのも怖い位です。でも同じ様な姿の、トカゲやカナヘビは大丈夫です。ニホントカゲは、光沢のあるきれいな姿をしています。ニホンカナヘビは似ていますが、体の表面に艶がありません。

開花植物

木本 ミズキ・ハリエンジュ・フジ・ハナイカダ・エノキ・イヌザクラなど

草本 ムラサキケマン・ハルジオン・オオアラセイトウ・ヤブニンジン・ハウチャクソウ・キンラン・

ギンラン・ヤエムグラ・ヒメオドリコソウ・ノゲシ・オオイヌノフグリ・タチイヌノフグリ・オニタビラコ・ハコベ 2 種・タチツボスミレ・ジュウニヒトエ・カラスノエンドウ・セイヨウタンポポ・キツネノボタン・スズメノテッポウ・スズメノカタビラなど

鳥 ヒヨドリ・コゲラ・ハシブトガラスなど

昆虫 ニホントカゲ・ナミテントウ・ミスジマイマイなど

クモ ゴミグモ・オオシロカネグモなど

キノコ キクラゲ・スエヒロタケ・ハチノスタケ・その他 2～3 種

園 いやまの森

2008.5.3(土) 雨 山田幸子

立夏：爽やかな五月晴れの季節です。野山に夏の気配が？ カエルが鳴き、ツツジが咲いて、雨滴で新緑・草花に美しさが加わります。



花盛り



オオアラセイトウと虫



虫跡：ハムグリバエ



ホウチャクソウ



ヤエムグラ



ハコベ



イタドリとハルジオン



カキドオシ



タチイヌノフグリ



ハゲシ



ハルジオン



アカメガシワ



エノキの若い実



イヌザクラ



ミズキ